

市報

# やまぐち

2024

4/1

April

No.432



<b>特集</b>	令和6年度予算とまちづくりの概要	2
	令和6年度 組織改編のお知らせ	8
	やまぐちの魅力 再発見 Rediscover Yamaguchi!	9
	市政トピックス	10
	県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」	12
	第29回中原中也賞	13
	イベントカレンダー	14

# 令和6年度予算とまちづくりの概要

☎ 企画経営課 ☎ 083-934-2747、財政課 ☎ 083-934-2750

## 令和6年度予算の基本的な考え方

### 「ずっと安心 元気山口」予算

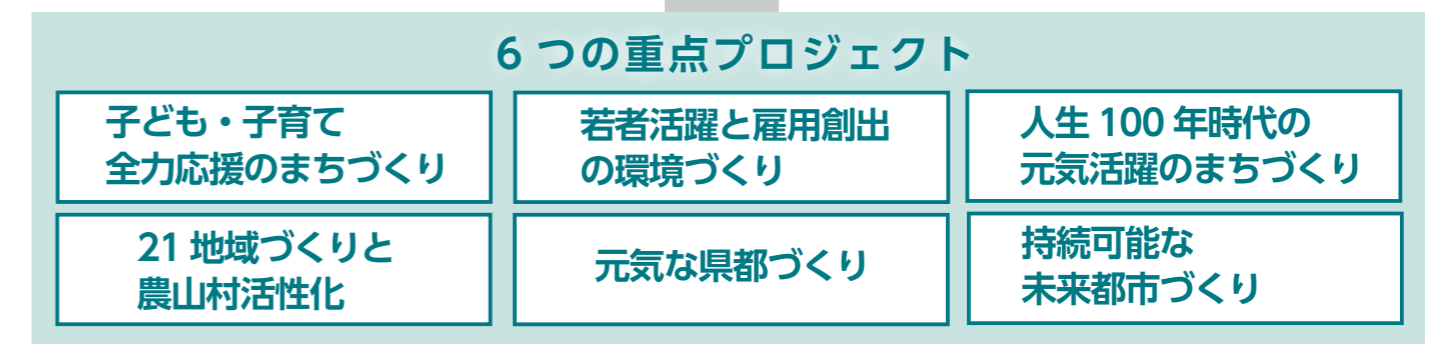
本市では、令和6年度予算を「ずっと安心 元気山口」予算と位置付け、新市のまちづくりの総仕上げを含む第二次山口市総合計画後期基本計画の6つの重点プロジェクトの着実な推進が可能となる積極型予算として編成しました。後期基本計画におけるあらゆる施策分野の取り組みや、6つの重点プロジェクトの取り組みを進めます。

第二次山口市総合計画 後期基本計画 (計画期間：令和5年度～令和9年度)

### 「ずっと元気な山口」の実現

～誰もが活躍し まちもひとも 今も未来も 元気な山口に～

- ・農山村と都市が共存共栄するまちづくり
- ・今の市民生活を豊かにし、安心して元気に暮らせるまちづくり
- ・未来に向けたチャレンジを支えるまちづくり



### 物価高騰の影響への対応 防災・減災対策の加速化

山口市経済対策


**第16弾 (生活者支援・事業者支援)**

- ・住宅リフォーム工事への支援
- ・中小企業等の省エネ機器等導入への支援 など

**第16弾拡充版 (生活者支援)**

- ・住民税均等割のみ課税世帯への「物価高騰対応重点支援給付金」の給付 など

新たに非課税となる世帯や、定額減税しきれないと見込まれる方への給付は、今後、国から詳細が示され次第、速やかに補正予算で対応する予定です。

詳細はこちら 

令和6年度一般会計当初予算総額  
**1,092億円** (対前年度比で141億2千万円増(14.9%増))

物価高騰の影響への対応などを切れ目なく進めるため、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」も踏まえ、令和5年度における12月以降の補正予算と令和6年度当初予算を、いわゆる16カ月予算として一体的に執行します。

## 一般会計歳入

市税は、個人市民税が定額減税等の影響により約6億9千万円の減額を見込み、法人市民税が景気動向を踏まえ約2億8千万円の増額を見込んでいます。固定資産税は、新築家屋の増加などにより約1億9千万円の増額を見込み、全体では約1億2千万円の減額(0.4%減)となります。

地方交付税は、令和5年度の交付決定額や地方財政計画などを踏まえ、普通交付税が7億2千万円、特別交付税が2億円、それぞれ増額を見込んでいます。

人件費は、給与改定に伴い給与が約3億2千万円、退職者の増加により退職手当が約5億4千万円増額することなどにより、全体では約10億3千万円の増額(6.7%増)となります。

扶助費は、児童手当の拡充に伴い児童手当支給費が約4億8千万円、定員拡大等により認定こども園運営費が約2億1千万円増額することなどにより、全体では約9億1千万円の増額(4.6%増)となります。

投資的経費は、普通建設事業費が

## 一般会計歳出

人件費は、給与改定に伴い給与が約3億2千万円、退職者の増加により退職手当が約5億4千万円増額することなどにより、全体では約10億3千万円の増額(6.7%増)となります。

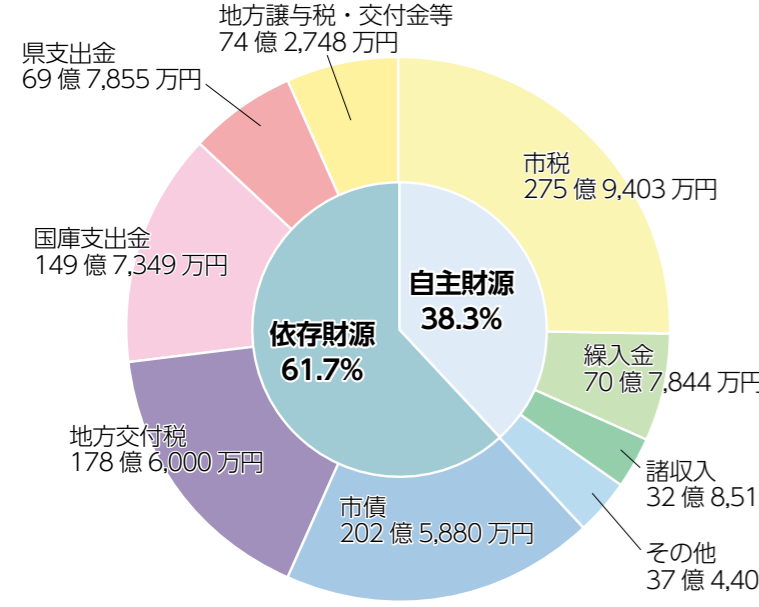
扶助費は、児童手当の拡充に伴い児童手当支給費が約4億8千万円、定員拡大等により認定こども園運営費が約2億1千万円増額することなどにより、全体では約9億1千万円の増額(4.6%増)となります。

投資的経費は、普通建設事業費が

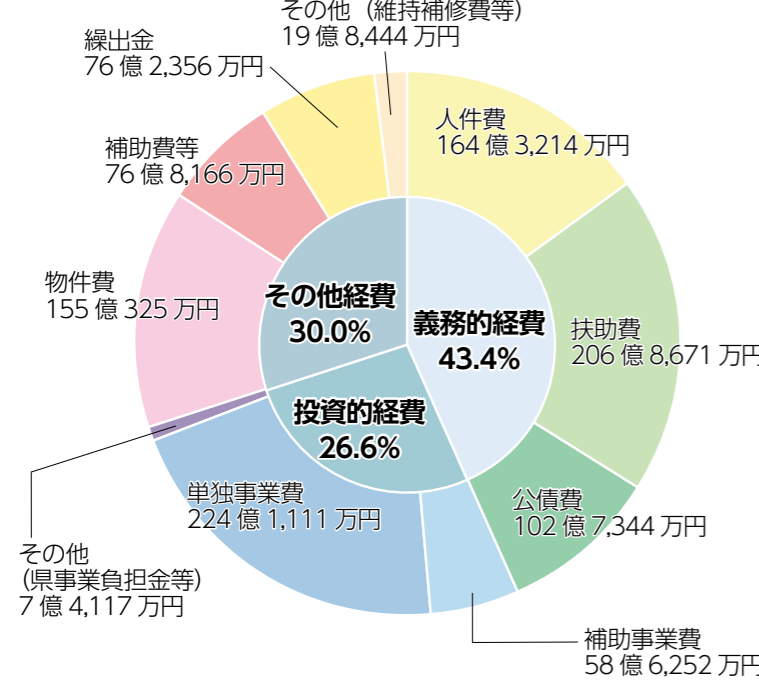
事業の進捗に伴い新本庁舎整備事業費が約67億1千万円、湯田温泉パーク整備事業費が約20億6千万円増額することなどにより、全体では約11億5千万円の増額(6.4%増)となります。

物件費は、介護保険特別会計からの移管により地域包括支援センター運営事業費が約2億7千万円、戸籍法の改正に係る対応として戸籍管理事務費が約1億8千万円増額することなどにより、全体では約9千万円の増額(6.8%増)となります。

## 一般会計歳入



## 一般会計歳出



## 特別会計の予算内訳

特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要のあるときに設けることができる会計です。原則、独立採算で運営します。

区分	当初予算額	対前年伸率
国民健康保険	200億8,546万円	▲1.6%
後期高齢者医療	40億4,830万円	17.7%
介護保険	181億7,766万円	▲2.6%
介護サービス事業	1,665万円	7.8%
鑄銭司第二団地整備事業	11億6,801万円	179.3%
地域下水道事業	812万円	15.4%
国民宿舎	1,250万円	38.9%
特別林野	475万円	▲13.9%
合計	435億2,145万円	1.3%

# 重点PJ 子ども・子育て全力応援のまちづくり

## 子育てなら山口

### ●子育て家庭の負担軽減に向けた取り組みの推進

#### 本市独自の取り組み

#### 1 高校生世代までの子ども医療費無料化

11億9,373万円

10月から、子ども医療費（保険診療による自己負担分）を無料とする助成制度の対象を高校生世代（18歳になる年度の3月31日まで）まで拡大します。



#### 2 第2子以降の保育料無償化

1億441万円

9月から、複数の子どもを育てる家庭の第2子以降の保育料を無償化します。また、所得制限や第1子の年齢制限はなくなります。



#### 3 1歳児健康診査の公費負担化

644万円

現在、公費負担により実施している乳幼児健診（1・3・7カ月、1歳6カ月、3歳児健診）に加え、8月から、1歳児健康診査の公費負担を開始します。



#### 4 おたふくかぜワクチンの接種費用の一部助成

1,100万円

任意接種（自己負担）である「おたふくかぜワクチン」の予防接種費用の一部を助成します。



- 1回目：1～2歳未満（令和5年4月2日以降に生まれた方）
  - 2回目：5～7歳未満で小学校就学前の1年間
- 2回とも、3,800円を助成**

#### 5 学校給食費の公費負担拡充（市内統一額への見直し）

1億7,084万円

各地域（合併前市町）で異なっている学校給食費を市内で1番低い額に統一し、公費負担による支援を拡充します。



#### 国と連携した取り組み

**児童手当の拡充 31億1,850万円**  
12月支給分から、支給期間を高校生年代まで延長し、第3子以降の支給額を増額します。また、所得制限はなくなります。

**児童扶養手当の拡充 6億9,978万円**  
令和7年1月支給分から、所得制限限度額を引き上げ、第3子以降の加算額を増額します。

#### ●「山口市こども家庭センター」を中心とした子ども・子育てに関する相談支援体制の強化

● 保育園・放課後児童クラブの定員拡大【79億3,069万円】  
年間を通じた保育園等の待機児童の解消や、待機児童が発生している小学校区における放課後児童クラブの整備等に取り組みます。

令和6年度定員拡大	
保育園	149人
放課後児童クラブ	240人

## 教育なら山口

● 英語教育の推進【4,660万円】  
海外とのオンライン授業の実施や、ALT・留学生等との交流を図るイベントを開催します。また、英語教員の指導力向上を図るための研修会を開催します。

● 「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の実施【1,247万円の内数】  
市立小・中学校とYCAMの連携による先進的な教育事業「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」として、「360°図鑑」の取り組みなどを実施します。

● ICTを活用した学びの充実【5億4,415万円】  
これまで導入してきた電子黒板等の計画的な更新を行うとともに、指導者用デジタル教科書やAIドリル教材、授業支援ソフト等を引き続き活用します。

● コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進【915万円の内数】

● 市立中学校の部活動の地域移行に向けた取り組みの推進【1,741万円】  
「部活動地域移行推進室」を新設し、令和8年度からの部活動の地域移行に向けた取り組みを本格化します。



交流イベント「やまぐち English Village」

# 令和6年度まちづくりの概要

令和6年度の主な取り組みについてご紹介します。詳細については、右の二次元コードからご覧いただけます。

市公式ウェブサイト  
「令和6年度当初予算資料」



## 市民生活の“安全”を守る取り組み～防災・減災対策の加速化～

### 浸水対策・高潮対策の強化

- 雨水管理総合計画の策定【2億円】**企業会計**  
「雨水管理総合計画」の令和8年度の策定に向け、これまでの浸水被害の状況や降雨記録などの基礎調査を踏まえ、浸水シミュレーションの実施に向けた既存水路等の現地測量調査を行います。
- 問田雨水ポンプ場（大内地域）等の整備【1億9,900万円】**企業会計**  
重点的に浸水対策を講じる地区において、雨水排水施設の整備を行います。令和6年度は、引き続き問田雨水ポンプ場の整備、小郡下郷地区長通り雨水幹線の整備を実施します。
- 総合浸水対策事業【8,300万円】  
昨年の大雨災害で特に浸水被害の大きかった平野川（平川）における浸水危険流域箇所の基本調査や、八方原（小郡）におけるポンプ排水補助施設の設置に向けた調査などを実施します。
- 移動式排水ポンプ設備等の増設【2億2,964万円】**一部補正**  
内水氾濫等による浸水被害の軽減を図るため、既存の排水ポンプ車等に加え、新たに4台の移動式排水ポンプ設備の導入などに取り組みます。
- 緊急かつ集中的な河川浚渫の推進【1億1,999万円】  
河川氾濫等の浸水被害を軽減するため、準用河川等のうち、特に危険度の高い箇所について、集中的な浚渫工事等を行います。
- 高潮災害を想定した避難シミュレーション調査の実施【3,000万円】  
沿岸部の浸水被害が想定される地域（名田島、秋穂、阿知須）において、高潮（一部津波）を想定した避難シミュレーション調査を実施します。



### 災害時における災害対応力の強化、避難支援

- 総合防災情報システムの運用による災害対応力の強化【910万円】  
市災害対策本部において、災害情報や気象情報、河川カメラ映像等をオンライン上で共有できる「総合防災情報システム」の運用を開始します。
- 災害時における要配慮者の避難支援【319万円】  
災害時等に支援が必要な方々の情報を管理・運用する避難行動要支援者等管理システムの機能強化を行います。また、一般の避難所では避難生活が困難な避難行動要支援者のため、福祉避難所の確保のほか、避難所運営に必要なマットや簡易ベッドなどの環境整備を行います。

## 米ニューヨーク・タイムズ紙「2024年に行くべき52カ所」の3番目に山口市が選ばれました！

国内外から山口市を訪れる方へのおもてなしの環境づくりや情報発信を行っています。

- ・フリーWi-Fiによるインターネット環境の充実<<観光案内所、香山公園等>>
- ・同時通訳機器の設置<<観光案内所、観光ガイド等>>
- ・案内サインや観光パンフレットの多言語対応
- ・市内事業所のキャッシュレス決済機器等の導入支援
- ・「山口ゆめ回廊」公式ウェブサイトの多言語運用の開始（山口県央連携都市圏域7市町の観光情報等を多言語で発信） など



加えて、令和6年度は、インバウンド対応のさらなる強化を図ります。【約1.1億円】

- インバウンド等の受入環境の充実
  - ・観光案内所での多言語対応スタッフの増員
  - ・「地域通訳案内士」の拡充
  - ・飲食店におけるメニュー表等の多言語対応への支援 など
- 誘客プロモーションの拡充
  - ・瑠璃光寺五重塔など、大内文化に代表される歴史文化資源を生かした本市ならではの体験コンテンツの作成
  - ・飲食店や観光スポット、体験コンテンツ等を巡る周遊マップの作成
  - ・インバウンド誘客のさらなる促進に向けた海外現地での情報発信 など



## 重点PJ 人生100年時代の元気活躍のまちづくり

### 健康都市づくりの推進

- 済生会山口総合病院の建て替え支援【1億1,340万円】
- 休日における一次救急医療の安定的な提供に向けた取り組み推進【1億8,319万円】  
休日当番医が輪番制で行っている休日日中の内科診療を市休日・夜間急病診療所で実施します。(北部地域のみ)
- 带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成の開始【872万円】  
50歳以上の方の带状疱疹ワクチンの予防接種費用を一部助成します。  
生ワクチン：接種回数1回、助成額4,000円  
不活化ワクチン：接種回数2回、助成額20,000円(10,000円×2回)



休日・夜間急病診療所

### 元気活躍を支える地域福祉の推進

- 包括的な支援体制の強化～複合化・複雑化した課題への対応～【4,934万円】  
「やまぐち『まちの福祉相談室』」をはじめ、関係機関との連携強化や相談支援体制の充実を図ります。

### 学びが充実し、生涯にわたって活躍できるまちづくり

- 大学や企業等との連携による学習機会の創出【874万円】

## 重点PJ 21 地域づくりと農山村活性化

### 個性と安心の21地域づくり

- 元気な地域づくり推進事業【100万円】  
地域コミュニティの元気創出や住民の地域に対する愛着、誇りの醸成に向けて、「地域発のプロジェクト」の具現化を支援するための新たな補助金(交付金)制度を創設します。
- 自治会等が実施する防犯灯設置等への補助増額、公費による保険加入【2,042万円】
- 平川地域・大内地域交流センターの建設整備に向けた取り組み、阿東地域交流センター生雲分館の駐車場整備に向けた取り組み、小鯖地域交流センターの機能強化・複合化に向けた検討【9,470万円】
- 地域の特性に応じた公共交通ネットワークの再構築【4億9,544万円】

### 農山村エリアの地域活性化

- 農山村エリアの居住促進に向けた取り組み【100万円】  
農山村エリア9地域(仁保、小鯖、陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、秋穂、徳地、阿東地域)における居住促進に向け、「農山村エリア居住促進計画」を策定します。
- 地域おこし協力隊等の外部人材の活用【1億650万円】
- 農山村エリアにおけるビジネス創出支援【1,980万円】
- 重源の郷体験交流公園のリニューアル整備【4億8,330万円】
- 国民宿舎秋穂荘の機能検討【300万円】



重源の郷体験交流公園整備イメージ

## 重点PJ 持続可能な未来都市づくり

### HX ヒューマン・トランスフォーメーション

#### 未来を担う人材育成

産学官金連携による地域の人材育成や課題解決を図る取り組み等を進めます。

### DX デジタル・トランスフォーメーション

#### 便利で快適な暮らしに向けたデジタル技術の活用

新本庁舎における「ワンストップで」「書かない」「待たない」総合窓口サービスの展開に向けた取り組み等を推進します。

### GX グリーン・トランスフォーメーション

#### 暮らしの質の向上と地域経済活性化に向けた地域脱炭素の推進

山口グリーンエネルギー株式会社(地域新電力会社)を通じて、本庁舎等に市清掃工場で発電した再生可能エネルギー電力の供給等を行います。

## 重点PJ 元気な県都づくり

### 文化・観光・スポーツ資源を活用した交流創出

- 歴史文化を活用したシビックプライドの醸成や交流人口の創出【1,928万円】  
本市の歴史文化について、調査・研究・情報発信を行います。大内氏や大内文化を幅広い層の方々に発信するため、「大内氏がわかる本」3部作の増刷や、「大内氏がわかる絵本」の作成などを行います。
- 山口情報芸術センター[YCAM]の企画運営【2億5,091万円】
- 国宝瑠璃光寺五重塔の檜皮葺屋根葺き替えへの支援【1,517万円】
- 観光資源を活用した誘客促進【7,516万円】  
本市の歴史、文化、自然、特産品などの多様な観光資源に磨きをかけ、大内文化ゾーンや亀山周辺・中心商店街ゾーン、農山村エリア等への誘客促進を図ります。
- 周辺7市町や国内外の都市との広域観光連携の強化【6,100万円】  
山口県央連携都市圏域の市町共同での観光コンテンツの開発やプロモーション事業をはじめ、国内外の都市との相互交流事業や連携事業を行います。
- 湯田温泉への観光誘客促進【3,337万円】
- 「我がまち」のスポーツ財産を活用した交流人口拡大・地域活性化・健康づくり【1,105万円】  
本市ゆかりのトップアスリートや、プロサッカーチームレノファ山口FCと連携した取り組みを行います。



約70年ぶりの大改修の機会を活用し、外壁シートにデザインを施した瑠璃光寺五重塔

### 広域県央中核都市づくり

- 産業交流拠点施設を活用した新たな交流とビジネスの創出【4億3,062万円】
- 新山口駅周辺におけるサービス機能の導入促進の検討  
飲食店をはじめとしたサービス機能の導入促進や出店支援に向けた調査を実施します。
- 新本庁舎の整備【108億8,572万円】
- 中心市街地の活性化
- 湯田温泉パークの整備推進【31億9,242万円】
- 国道2号や国道9号の道路整備の促進に向けた取り組み【2,140万円】
- 県農業試験場等の跡地利活用の検討【2,000万円】  
県と本市で、具体的な導入施設、ゾーニング等を位置付ける「農業試験場跡地利用基本計画」の作成に向けた取り組みを進めます。
- 山口県立大学南キャンパスの利用方策の検討
- 山口きらら博記念公園の交流拠点化との連携に向けた取り組み



新山口駅北地区の市街地再開発の完成イメージ

R6年度末竣工  
R7年度供用開始



湯田温泉パークの完成イメージ

## 重点PJ 若者活躍と雇用創出の環境づくり

### 若者活躍のまちづくり

- 若者交流・出会いの場・にぎわい創出への支援、若者の遊び場の充実にに向けた検討  
若者が楽しめるイベント等への支援や、アミューズメント施設等の立地促進に向けた情報収集・検討を行います。
- 大学生・若者等の地元就職の促進【4,510万円】  
奨学金返済支援や初任給引き上げ、各種手当等の福利厚生等の充実に取り組む中小企業への支援等を行います。

### 農林水産業の経営基盤の強化と担い手育成

- スマート農林水産業の推進【5,500万円】
- 農林水産業の新規就業者支援【2億4,604万円の内数】
- 道の駅「仁保の郷」の機能強化、道の駅「あいお」の移転整備に向けた取り組み【5億8,180万円】



道の駅「仁保の郷」

### 人材の確保・育成、商工業・サービス業の活性化

- 中小事業者等の重点的な人材確保支援・事業承継支援・経営基盤強化【10億9,360万円】
- バス・タクシーの運転士確保支援【1,877万円の内数】
- 起業創業・新事業創出等への支援【4億8,006万円の内数】



# Rediscover Yamaguchi!

☎ 広報広聴課 ☎ 083-934-2753

## なぜ、ニューヨーク・タイムズ紙「2024年に行くべき52カ所」に「山口市」が選ばれたの？

今年1月、アメリカのニューヨーク・タイムズ紙(以下、NYT紙)が発表した「2024年に行くべき52カ所」で、世界各地の旅行先の中で山口市が3番目に選ばれました。この大変面白いニュースを受けて、市では、おもてなしの環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。

一方で、この知らせを聞いて、「なぜ?」と思った方も、実はいらっしゃるのではないのでしょうか。

その理由をひも解くため、今月から「やまぐちの魅力再発見 Rediscover Yamaguchi!」と題して、NYT紙の紙面で取り上げられたスポットにまつわる情報などを発信する連載コーナーをスタートします。

初回となる今回は、まず、NYT紙で何が紹介されたのか、そして、山口市のおもてなしの取り組みについてご紹介します。

おもてなしの取り組みは? 本市では、国内外から本市にお越しいただく方に、「ありのままの山口市」を楽しんでいただくためのおもてなしの取り組みとして、訪れた方が不便を感じないような環境づくりや、地域資源を生かすPRなどを行ってまいります。以下、その一部をご紹介します。

### おもてなしの取り組みは?

何が紹介されたの? NYT紙の紙面では、山口市が「西の京」と呼ばれるコンパクトなまちであることに触れ、香山公園と国宝瑠璃光寺五重塔、洞春寺の境内にある陶芸工房、シッケなコーヒースタイルのカフェ、おでんや鍋料理を提供するカウンターのみのお店、そして、湯田温泉や約600年の歴史を持つ山口祇園祭など、さまざまな視点からの魅力が紹介されました。

## プロジェクトマッピング等の開催期間を延長しました

国宝瑠璃光寺五重塔は、令和の大改修中!

5/6 (月・休) まで



多数の好評のお声をいただいている国宝瑠璃光寺五重塔での「プロジェクトマッピング『昇華-shouka- 大内文化』」の開催期間を5月6日(月・休)まで延長しました。

また、空間アートプログラム「大内文化 思想をめぐる道」も、併せて開催期間を延長して実施中です。[実施時間] 19:00 ~ 22:00 (4月1日(月)から)

## JR山口駅に手荷物を預けて快適に観光できます

コインロッカーに入らない大きな荷物も預けられます!

JR山口駅構内の山口観光案内所で、手荷物の一時的預かりサービスを開始しました。

[利用時間] 9:00 ~ 18:00 [料金] 手荷物1個につき 1,000円

[受付] 山口観光案内所 (JR山口駅構内) ☎ 山口観光コンベンション協会 ☎ 083-933-0088

また、JR山口駅構内に、**有料コインロッカーが設置**されました!

## 観光循環タクシーの実証運行を開始しました

JR山口駅発着で香山公園を經由し、八坂神社や龍福寺などの大内文化特定地域内を周遊する「山口市観光循環タクシー」の実証運行を開始しました。  
[出発時刻] 山口駅発 8:30、9:30、10:45、12:00、12:45、14:45、15:45、16:45 の1日8便  
[運賃] 1乗車 大人200円、小人100円

お得な「山口市観光周遊1日乗車券」  
観光循環タクシーとコミュニティバス全区間  
**終日乗り降り自由** 大人500円、小人250円

詳しくは、右の二次元コード  
または

## 編集後記

今回、NYT紙の紙面で取り上げられたもののほかにも、市内21地域には、それぞれの個性や文化があります。こうした魅力は、もしかしたら、やまぐちに暮らす私たちには、あまりにも身近過ぎて、案外、気が付きにくいものなのかもしれません。今後、NYT紙で取り上げられたものを中心に紹介していくことで、改めて山口市の魅力を再発見していきたいと思っています。次回もお楽しみに!

# 令和6年度 組織改編のお知らせ

第二次山口市総合計画後期基本計画の着実な取り組みにより、「ずっと元気な山口」の実現に向けたまちづくりを効果的に進めるため、4月1日付けで組織の一部を改編します。主な内容は次のとおりです。

☎ 総務課 ☎ 083-934-2909

## 新設 「部活動地域移行推進室」を設置

～部活動の地域移行に向けた体制強化～

市立中学校の部活動の地域移行に向けた取り組みを本格化し、令和8年度からの地域移行を目指すため、交流創造部内に「部活動地域移行推進室」を新設します。



☎ 部活動地域移行推進室 ☎ 083-934-2672

## 新設・再編 「河川治水課」を設置

～市民生活の安全を守る～

近年の激甚化・頻発化する大雨災害による住宅浸水や道路の冠水・崩落といった多数の浸水被害から市民の生命と財産を守るため、都市整備部内に「河川治水課」を新設し、防災・減災対策の取り組みを加速化します。  
河川治水課には「管理担当」および「河川治水担当」を設置します。  
河川治水課の新設に伴い、道路河川管理課を「道路管理課」、道路河川建設課を「道路建設課」として再編します。



☎ 河川治水課 ☎ 083-934-2679

## 新設・改称 「人材確保支援担当」「起業創業支援担当」を設置

～若者活躍と雇用創出の環境づくり～

若者の市内就職の促進と、市内企業の人材確保支援の取り組みを一体的に進めるため、商工振興部ふるさと産業振興課内に「人材確保支援担当」を新設します。

起業・創業・第二創業支援、経営改革などの取り組み支援を戦略的に進めるため、ふるさと産業振興課新事業支援担当を「起業創業支援担当」に改称し、取り組みを強化します。



## 新設・再編 「こども家庭センター」を設置するとともに子育て保健課を再編

～子ども・子育てに関する相談支援体制の強化～

こども未来部内に「こども家庭センター」を新設し、センター長および統括支援員を配置するとともに、包括的な相談支援の体制を強化します。  
☎ こども家庭センター ☎ 083-921-7085  
子育て保健課母子保健担当とやまぐち母子健康サポートセンターの機能を統合し、「母子健康サポート担当」、「母子健康サポート南部担当」、「母子健康サポート徳地担当」、「母子健康サポート阿東担当」に再編します。

保育・子育てに関する相談支援および地域の子育て施設や相談機関との連携などを行うため、子育て保健課内に「こども家庭支援担当」を新設します。

☎ 子育て保健課

家庭児童相談室	☎ 083-934-2960
母子健康サポート担当	☎ 083-921-7085
母子健康サポート南部担当	☎ 083-973-8147
母子健康サポート徳地担当	☎ 0835-52-1114
母子健康サポート阿東担当	☎ 083-956-0993
こども家庭支援担当	☎ 083-921-7085

## その他

- 「新型コロナウイルス感染症対策室」を廃止し、新型コロナウイルスワクチンの定期接種化に係る業務については、健康増進課地域医療担当において対応します。  
☎ 健康増進課 ☎ 083-921-2666
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ならびに世界水泳選手権2023福岡大会等が閉幕し、本市におけるスポーツ世界大会等を通じた交流の推進について一つの区切りを迎えたことから「ホストタウン推進室」を廃止します。



ウェブサイトでも公開中

## パナソニック ホールディングス株式会社、パナソニック インダストリー株式会社と災害に関する協定を締結

2月5日(月)、本市がパナソニックホールディングス株式会社と「災害時における生活物資の供給等に関する協定」を、パナソニックインダストリー株式会社と「災害時等における施設利用の協力に関する協定」を、それぞれ締結しました。

これらの協定は、本市で地震や豪雨などの災害が発生した場合等に、相互に連携と協力のもと、パナソニックホールディングス株式会社の保有する電池やLEDランタン等の物資供給、パナソニック インダストリー株式会社施設の施設の一部を一時避難場所や消防の災害活動拠点等の用途に利用することについて、必要な事項を定めたものです。

締結式で、市長は「本市では、昨年の6月30日からの大雨災害により、市民生活に甚大な被害が発生し、現在、ハード・ソフト両面から、災害に強いまちづくりに向けた取り組みを全力で進めている。このような中、災害時における連携協定の締結は大変ありがたく思う。本協定の締結を契機に、市民の皆様が安心して暮ら

すことのできるまちづくりがさらに加速するものと大いに期待している」と述べました。



▲協定書を手にするパナソニック インダストリー株式会社山口拠点の新海拠点長(左)と市長(右)

また、パナソニック インダストリー株式会社山口拠点の新海拠点長は「災害は発生しないに越したことはないが、万が一発生した際に迅速に動けるよう、事前にこういった協定を締結できたことは大きな意味があると考えている。また、このような協定を締結したことを市民の皆さんに知っていただき、災害に対する備えや防災意識を高めるきっかけとなれば、と思っている。今後とも、山口市と相互に連携・協力していき、地域社会に貢献していきたい」と述べられました。

防災危機管理課 ☎083・934・2723

## 阿知須「いぐらの館」の来館者数が15万人に到達

2月10日(土)、旧中川家住宅(愛称『阿知須「いぐらの館」』)の来館者数が15万人を達成しました。

阿知須「いぐらの館」は、阿知須地域のいぐら造(瓦葺きの屋根、漆喰で塗り固めた大壁で防火機能に優れた建物)の古民家で、平成20年4月から一般公開しています。2月8日(木)、12日(月・休)の間、阿知須「いぐらの館」周辺の店舗や民家等で、小物等のアート作品を展示する「阿知須のひなまつり」が開催され、多くの来客に賑わいました。

15万人目は、市内在住の小林白尚さん(2歳)で、来場者から拍手で迎えられた後、末永館長から、認定証や花束、記念品が贈られました。白尚さんと共に訪れた母親の倫子

さんは「ひなまつりがきっかけで来館した。伝統的な文化で地域がにぎわっている雰囲気がいいと感じた」と話されました。



▲記念撮影の様子 左から小林白尚さん、兄の慈周さん、倫子さん

末永館長は「今後も地域や利用者の皆さんに協力いただきながら、施設や阿知須地域の魅力を発信していきたい」とあいさつしました。

文化財保護課 ☎083・920・4111

## 市美術展覧会大賞を内山省三さんの作品「幻日」が受賞

3月3日(日)、令和5年度山口市美術展覧会の表彰式を行い、市長らが入賞者に賞状を手渡しました。16歳から91歳までの市民からの応募作品149点のうち15点が入賞となりました。

大賞に輝いた内山省三さんの作品「幻日」は、郊外の田んぼの中にある、白い猫が描かれたオブジェと猫を写し

## 市スポーツ特別表彰・市スポーツ協会表彰の合同表彰式

2月6日(火)、令和5年度「山口市スポーツ特別表彰」と「山口市スポーツ協会表彰」の合同表彰式を行いました。

山口市スポーツ特別表彰は、各種競技において国際大会で優秀な成績を収められ、本市のスポーツ振興に寄与された方を表彰するものです。また、山口市スポーツ協会表彰は、山口市スポーツ協会に加盟する個人・団体で各種競技において優秀な成績を収められた方や、長年協会の役員または加盟団体の役員としてスポーツの振興・発展に尽力された方を表彰するものです。今年度は、山口市スポーツ特別表彰を12人に、山口市スポーツ協会表彰の功労賞を8人、奨励賞を24人と4団体に授与しました。



▲記念撮影の様子

受賞者(団体)一覧▶



市長は「本市では、スポーツを『す

たモノクロ写真です。内山さんは「大変光栄なことだと感じている。今後も創作活動を通して、文化芸術のイベントなどに関わり、山口市を盛り上げることに協力していきたい」と喜びを語られました。



▲大賞に選ばれた受賞作「幻日」と内山さん(右)、市長(左)

審査委員長の山口県立大学国際文化学部の倉田研治准教授は「応募作品はそれぞれの日常や営みの中で感じ取ったことを昇華して、前向きに考えや姿勢を打ち出している。展示された作品を通じた新たな気づきが、関わった人の日々の暮らしや気持ちの潤いとして、これからも持続していくことを期待したい」と総評されました。

市長は「創作した方の個性が豊かに表現されている。このたびの受賞を励みとされ、さらなる高みを目指し、今後も創作活動に取り組まれることを期待している」と述べました。

文化交流課 ☎083・934・2717

る「『みる』『ささえる』の視点のもと、スポーツから生まれる絆や交流が地域の活力につながるよう、さまざまなスポーツ施策を推進している。選手の皆様には引き続きトップアスリートとして大きく飛躍していただきたい。また、これまで選手を支えてこられた競技団体や山口市スポーツ協会の皆様に深く感謝を申し上げます」とあいさつしました。

山口市スポーツ協会交流課 ☎083・934・2912

## 令和6年能登半島地震における派遣職員の出発式

2月8日(木)、令和6年能登半島地震における派遣職員の出発式を行いました。



▲派遣職員(左、中央)を激励する市長(右)

市長は「輪島市は水道等ライフラインの復旧の見込みが立っておらず、厳しい状況が続いているが、被災者の

## 表紙の写真「無限の可能性」

表紙の写真は、「石川佳純 47都道府県サンクスツアー in 山口」の様子です。昨年現役を引退された本市平川出身の石川佳純さんが、3度のオリンピック出場など、自身のキャリアを通じて経験した卓球の魅力、スポーツの楽しさを日本中の方々に伝えたい、との思いから企画されました。

卓球教室やトークショーで石川さんと触れ合った子どもたちは目を輝かせ、積極的に挑戦すること、努力を続ける大切さなどを学びとっていました。この貴重な体験は、夢を追い、目標に向かって成長する過程で大切なエネルギーとなることでしょう。

石川さんから贈られた言葉が次の世代に引き継がれ、いつしかその種が芽吹き、子どもたちはそれぞれの可能性を開花させてくれるのではないのでしょうか。

広報広聴課 ☎083・934・2753



皆場が自然と笑顔が交わされました。故郷山口で、観客の皆さんと自然と笑顔が交わされました。



佐藤 文香  
(写真：野村佐紀子)

1985年兵庫県神戸市生まれ。1997年に愛媛県松山市に転居し、翌年俳句を始める。第2回芝不器男俳句新人賞対馬康子奨励賞受賞。

句集に『海藻標本』（第10回宗左近俳句大賞）、『君に目があり』『こゑは消えるのに』。

2014年ごろから自由詩を書き始め、詩集に『渡す手』。編著に『俳句を遊べ!』、『天の川銀河発電所 Born after 1968 現代俳句ガイドブック』など。恋愛掌編集『そんなことよりキスだった』。書店イベントや書籍の編集協力、作詞など、日本語詩に関する活動を幅広く行っている。

### 受賞者コメント

先日、小学生向けの俳句のワークショップの講師をしたとき、小学校6年生の子に「私、中原中也の詩が好きです、先生は詩人、誰が好きですか」と聞かれました。私は「中原中也賞って知ってる？ 今の詩人の賞。私が好きなのはその受賞者の岡本啓さん」とこたえました。まさか自分がその賞をいただくとは、思ってもみませんでした。

私が俳句を始める1年前、本を読みたいと思うことのなかった小学校6年生のときの夢は、「声優になり人気アニメの主人公の役をやり主題歌も歌う、一方で書道の先生もやる」というかなり気持ち悪いものでしたが、読んだり歌ったり書いたりする、その言葉の方を考える側になったと言ったら、当時の私はどう思うでしょうか。

今後は自由詩と定型詩を往き来しながら、現代の日本語の詩の可能性を広げることができるといいなと思っています。どうぞよろしくをお願いします。



佐藤 文香  
『渡す手』  
(思潮社)

「受賞作品『渡す手』所収  
『花の印象』より

枝を降りる雀  
続いて枝へ上がるもの  
土をついばむ影は動き  
幹の影とよく混ざる

ファインダーのこちらに  
葉桜を呼び起こすためか  
鼻と喉の繋がりに桜餅の匂い  
そうではなく

平山城の堀端をめぐる  
水を頼りに朽ちる落葉は  
いくらでも次の季節へ向かう

### 花の印象

ちょっと  
紹介!  
作品の世界

王国」や「彫刻」などの作品に、ある種の諦念とともに世界の危機感を捉えようとする視点がある。硬質な筆致や着地点の見定め方などが評価された。一方で、現代詩としての既視感があるとの意見も出された。佐藤詩集は各篇にスタイルの一回性が感じられ、言葉のセンスの高さ、自在さが注目された。良くも悪くも、定型詩である俳句の作者として培われてきた言語感覚が現れている。「縦の感覚」「花筏」「行くということ」などの作品に作者の特徴が出ていて、言葉に関する引き出しを多く持っている書き手であると思われる。そこに、今後の展開も含めて期待が集まることとなった。

議論は最後の段階まで大変白熱したが、佐藤文香『渡す手』が第29回中原中也賞にふさわしい詩集として選ばれた。

に第29回中原中也賞の贈呈式と井坂洋子氏（詩人）による記念講演を開催します。

文化交際課 ☎083・934・2717

### 選考委員評

本年1月に開催された推薦会での検討の結果、7冊が選ばれ、選考会の対象とされた。

最終的に討議の対象となったのは、大島静流『鳥の城』と佐藤文香『渡す手』の2冊だった。大島詩集は「転倒する

### 受賞者決定

中原中也賞は、日本の近代詩史に足跡を残した本市出身の詩人、中原中也の業績を永く顕彰することを目的に、新鮮な感覚を備えた優れた現代詩の詩集に贈る文学賞です。

第29回となる中原中也賞は、2月に行われた選考会において、応募、推薦のあった240点の作品の中から、佐藤文香さんの『渡す手』に決定しました。受賞者には、正賞として中原中也ブロンズ像と、副賞として100万円を贈呈します。また、4月29日（月・祝）



圏域の市町におでかけしよう!  
※詳細は、各お問い合わせ先へご確認ください。



圏域7市町の  
イベント情報

美祿 室内楽セミナー 秋吉台の響きコンサート2024



第一線で活躍する演奏家を迎えて開講する室内楽セミナー。オープニングを飾る、一流演奏家による珠玉の室内楽の世界をご堪能ください。

日時 4月26日（金）15時～17時  
場所 秋吉台国際芸術村コンサートホール（秋芳町秋吉50）  
料金 一般2,500円、大学生以下1,000円

問 秋吉台室内楽セミナー実行委員会 ☎083-902-7100

山陽小野田 第55回 江汐公園つつじまつり



江汐公園の最大の特徴でもある、市の花のつつじを楽しめます。スタンプラリーや樹木医による自然ガイドツアー、各種バザー、ニュースポーツ・ハンドメイドコーナーもあります。

日時 4月21日（日）10時～13時（少雨決行）  
場所 江汐公園（大字高畑401-1）  
問 江汐公園つつじまつり実行委員会事務局 ☎0836-83-5378

萩 萩博物館開館20周年特別展示シリーズその① 特別展示「ジュリアおたあの書状」



安土桃山時代に朝鮮から来日し、徳川家康に仕えるもキリスト教棄教を拒否して迫害されたジュリアおたあの手紙を、特別公開します。

日時 5月6日（月・休）まで9時～17時（入館は16時30分まで）  
料金 一般520円、高校・大学生310円、小中学生100円  
所 萩博物館（堀内355）  
☎0838-25-6447

宇部 第29回UBEピエンナーレ 柳原義達賞受賞記念展



「Inflating Shadow」で第29回UBEピエンナーレ（現代日本彫刻展）柳原義達賞を受賞した藤沢恵さんの作品展を開催します。

日時 4月12日（金）～5月26日（日）10時～16時  
場所 ときわ湖水ホールアートギャラリー（大字沖宇部254）  
問 宇部市文化振興課 ☎0836-34-8562

津和野 鷗外の末弟の足跡をたどる 森潤三郎～没後80年～



鷗外の末弟・潤三郎の没後80年を記念し、当館所蔵の関連資料を中心に、その足跡をたどりま。

日時 4月16日（火）～7月7日（日）9時～17時（月曜休館）  
料金 一般600円、中高生400円、小学生250円  
所 森鷗外記念館（町田イ238）  
☎0856-72-3210

防府 第43回防府市緑花祭



春の緑化推進運動の一環として、緑化の啓発を目的とした緑と花に関するイベントです。ステージイベントや、花木の販売、抽選会等を行います。緑や花の無料配布もあります。

日時 4月20日（土）、21日（日）10時～16時  
場所 イオン防府店・ルルサス防府平面駐車場（中央町1-3）  
問 防府市都市計画課 ☎0835-25-2435



# イベントカレンダー

4/3 (水) ~ 14 (日)

かていんピアノがやってきた  
@ YCAM

所 山口情報芸術センター [YCAM]  
所 山口市文化振興財団  
☎ 083-901-2222

ピアニストの角野隼斗氏が全国ツアーで使用した特別なアップライトピアノを設置。地元演奏家によるロビーコンサートを開催するほか、どなたでも自由にピアノを弾くことができます。

4/6 (土)

オゴオリザクラまつり

所 小郡地域交流センター周辺  
所 オゴオリザクラまつり実行委員会 ☎ 083-976-8588

スタンプラリーやステージイベント、餅まき、ワークショップなどを行います。

4/6 (土)、7 (日)

湯田温泉白狐まつり

所 井上公園、県道 204 号周辺、湯田自動車学校  
所 白狐まつり実行委員会事務局 ☎ 083-925-6843



4/7 (日)

桜まつり

所 徳佐八幡宮  
所 NPO あとう  
☎ 083-956-2526

ステージイベントや特産品の販売を行います。また、日没~22時に、徳佐八幡宮参道のしだれ桜並木をライトアップします。

4/28 (日)、29 (月・祝)

秋穂八十八ヶ所お大師まいり

所 秋穂、名田島、秋穂二島一帯  
所 山口観光コンベンション協会 秋穂支部 ☎ 083-984-3741

地元の方々による心温まるお接待もあります。笑顔咲く、春の秋穂霊場にお参りしてみませんか。

4/29 (月・祝)

第 29 回中原中也賞贈呈式・記念講演

所 湯田温泉ユウベルホテル松政  
所 文化交流課  
☎ 083-934-2717

詩人の井坂洋子氏による記念講演を行います。

中原中也生誕祭「空の下の朗読会」

所 所 中原中也記念館  
☎ 083-932-6430

詩の朗読を好んだ中也になり、自作や愛読の詩を朗読していただきます。当日は入館無料です。

開催中のイベント

4/7 (日) まで

着物 de おさんぽ

所 大路ロビー  
☎ 083-920-9220

着物を着て、一の坂川沿いや豎小路のまち歩きをしませんか。期間中に着物を着て協賛店を訪れると、ノベルティやサービスを受けられます(店舗ごとに条件あり)。



4/ 月上旬まで

一の坂川 桜のライトアップ

所 一の坂川  
所 観光交流課  
☎ 083-934-2810

5/27 (月) まで

企画展「料亭祇園菜香亭を彩ったうつわ展」

所 所 山口市菜香亭  
☎ 083-934-3312

料亭時代の菜香亭で使用していた陶磁器、漆器、膳を展示します。※期間中に展示入れ替えあり

これが私のふるさとだ

年度が変わり、進級・進学、職場の異動や引っ越しなど、新たな出会いやスタートを迎える季節となりました。

2月に開催された「中原中也賞」の選考会では、5人のうちの4人が新たな顔ぶれとなる選考委員により、佐藤文香さんの詩集『渡す手』が、晴れて第29回の中也賞に選ばれました。

選考委員の皆さんから「言葉の引き出しの多さ」や「新鮮さが持続する」などと講評され、そのように言葉が紡がれる佐藤さんに、私も4月29日(月・祝)の贈呈式でお会いできることを今から心待ちにしています。

本市では、開館30周年の節目を迎えた中原中也記念館を中心に、今後、さまざまな記念行事を行います。これからも、より多くの皆さんに中也の魅力に触れていただくとともに、「これが私の故里だ」と詠んだ中也の気持ちに寄り添いつつ、市民の皆さんの「ふるさと」への愛着や誇りの醸成につながるまちづくりをしつかりと進めてまいります。

山口市長 伊藤和貴

